

第5学年B組道徳科学習指導案

授業者 小室 真紀
研究協力者 小池 孝範
教材分析協力者 吉沢 文武

- 1 主題名 生きるということ 【D(22)よりよく生きる喜び】
教材名「葉っぱのフレディ」 レオ・バスカーリア作 みらい・なな訳

2 子どもと主題

(1) 子どもについて

「生命がつなぐもの」(教材名「おばあちゃんが残したもの」)の学習では、大好きなおばあちゃんの死を受け入れ、おばあちゃんのことを思い出すたびに幸せな気持ちになるというところが議論の発端となった。普通なら、悲しさが溢れるのに、なぜ幸せな気持ちになれるのか。おばあちゃんがしてくれたことが、周囲の人を楽しませることであり、今度は自分が引き継いでいこうとする主人公に、明るい気持ちを寄せた子どもたちであった。そして、「生命はずっと心でつながっていくんだと思う。」と話し始めたのをきっかけに「生命がないでいくものは何か。」について議論は及んでいった。子どもたちが行き着いた先には、「死んでしまうと形は見えなくなるけれど、一緒に過ごした思い出は消えることなく、思い続けることで濃さが増していく。」「親から受けた愛情が子へと伝わり、家族で大事にしてきたものの考え方が、未来へと続いていく。」といった、この先続いていく生命を感じながら自他の生命を尊重し、前を見つめて生きていこうとする強さを感じた。

(2) 主題について

生命は、ひと度失われると再び蘇ることのない唯一絶対的なものである。そして、死は誰にでも必ず訪れる。死は、人間にとって自然の営みであるが、「怖い」とか「縁起が悪い」といった印象が先立ち、死を正面から受け止めることは多くはない。全ての人に訪れる死を見つめることは、そこに行き着く過程である生き方に自ずと目が向いていく。重ねて、自分の生命はもちろん、他の生命もかけがえのない大切なものとして心から尊ぶべきである。限りある生命を自分らしく輝かせ生きていくことが、生命を大切にしていける姿に通じていく。

本教材「葉っぱのフレディ」は、大きな木の葉っぱに生まれたフレディの一生を描いた物語である。春に生まれたフレディは、親友で物知りなダニエルにいろいろな質問をすることを通して葉っぱとしての一生の姿を覚えてもらう。ひとつとして同じ葉っぱはないことから、様々な友達に囲まれている幸せを感じる。木陰を作り、葉っぱをそよがせて涼しい風を送ることが葉っぱの仕事であり人間を喜ばせることができることを知り、自分たちには輝ける場があること、認められることの幸せを感じる。そして、秋になって紅葉するのは、誰もが異なる経験をしているのだからみんな違う色に変わってしまうことを知り、一人一人が個性をもつことの素晴らしさを感じるのである。「変化するって自然なことなんだ。…死ぬというのも変わる一つのつなだよ。」というダニエルの言葉を聞き、安心するフレディ。やがて、フレディの番が来て、地面に降りた時、フレディは初めて自分の命を作った木の全体の姿を見て、そこに永遠の命を感じるのである。そして、フレディも、やがて土にかえり木を育てる力となる。

本主題では、【生命の尊さ】に対する他者の多様な考え方や感じ方に触れることで【よりよく生きる喜び】の道徳的価値の理解を深めることをもとに、自己の生き方を見つめ直し、よりよい生き方を目指していこうとする道徳性「資質・能力」を高めていく。死を見つめ直すことは、限りある生命を意識すると同時に、今をどう生きるのかをじっくりと考えるきっかけとなっていくだろう。

(3) 指導について

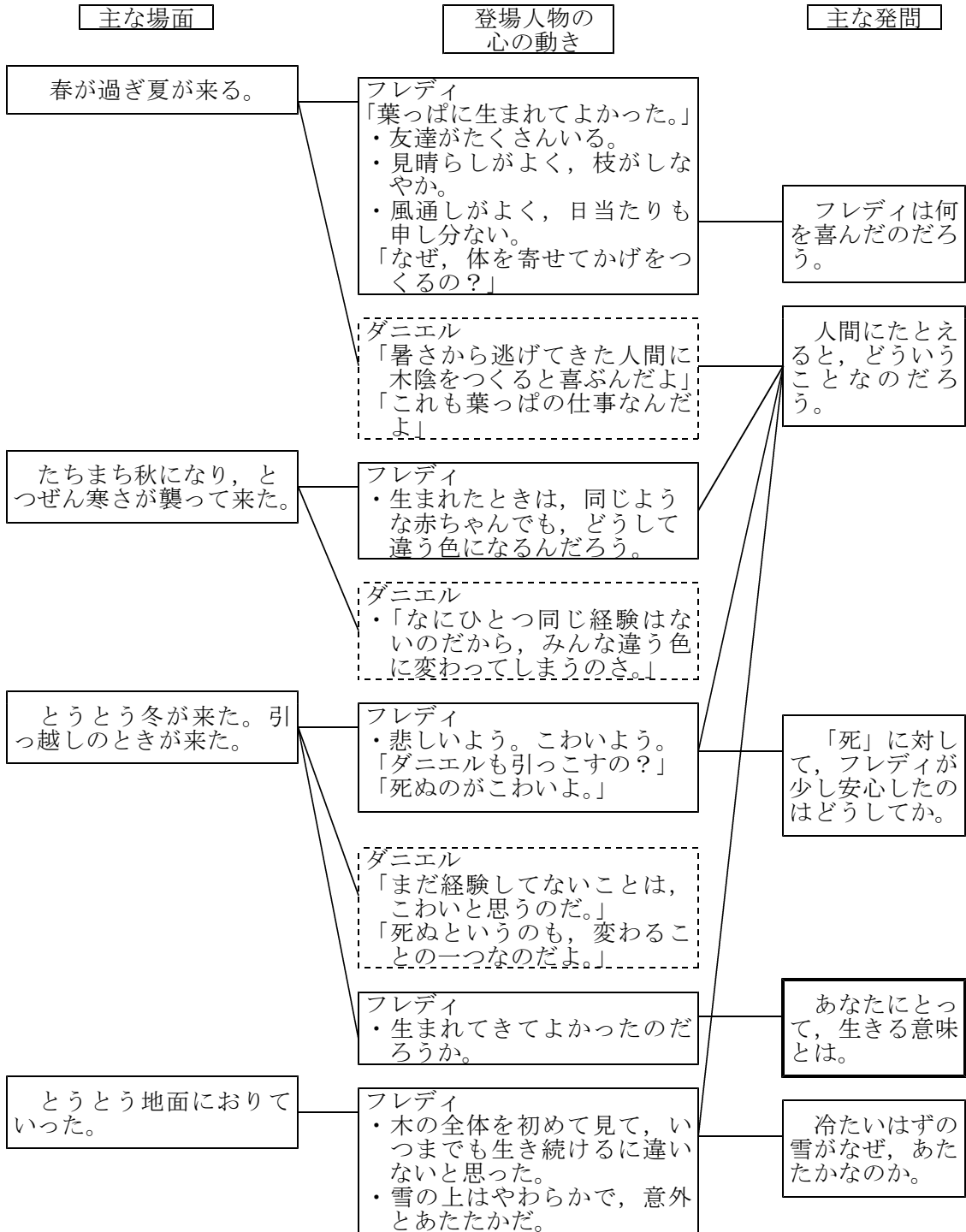
フレディが抱く死への不安に対して、ダニエルが「変わる一つのつなだよ。」と答える場面に、子どもたちは、今まで抱いていた死へのイメージが覆されるだろう。フレディの死への恐怖が、未知のことがらに対する怖さであることに共感する場を大事にしつつ、死を見つめ直していく場とする。死について考えていくとき、実感とまではいかないにしても生命には限りがあることを改めて意識する。死に至るまでの過程に心の目が向いていったとき、どんな生き方をしていきたい自分なのか、そして、今をどう生きるべきなのかを問いかけていく。何になりたいのかというより、どんな自分になりたいのかという視点に立ったとき、自分自身を深く見つめ、自分が生きている意味を自身に問い、新たな自分を見据える時間となるだろう。

今を一生懸命生きることの大切さを実感した語り合いの場になるよう、ダニエルの言葉や仲間の様子を人間の生き方にたとえていく。死への恐怖を抱いていたフレディの気持ちが穏やかに変化していった背景に十分共感することで、自分のこととして捉えていききっかけとしたい。自分のしたことが誰かのためになる幸せに感じたり【よりよく生きる喜び】、他と違うことが個性として輝いたとき自分の存在を感じたり【個性の伸長】、仲間と共に生きる温かさにもふれることで充実感を得たり【友情・信頼】する自分をひとつひとつ実感していくことが、自分らしく生きていくこと、生きる喜びに通じていくことになるだろう。

本主題ではぐくむ資質・能力を高めていくために、死を見つめ直していく。生命の重さを感じながら、それがどの人にも等しく尊いものであることを改めて実感し、死に至る最期の瞬間まで自分らしく精一杯生きるという「見方・考え方」に通じていくことと願っている。

3 教材分析
【よさの発見】

【生命の尊さ】生命がつなぐもの「おばあちゃんが残したもの」
今生きている自分が多くの生命のつながりの中にあり、かけがえのない存在である。様々な人々との精神的なつながりや支えが今の自分を創り上げていることを意識すると同時に未来の自分を見つめ直そうとする。



【よさの発見】
【よりよく生きる喜び】【生命の尊さ】生きるということ「葉っぱのフレディ」
誰にも等しく尊い生命には、限りがある。死に至る最期の瞬間まで、自分らしく精一杯生きたいという前向きな明るい気持ちを毎日の生活で意識していく。

4 本時の実際 (1 / 1)

- (1) ねらい 命には限りがあることを見つめ直すことで、生命の素晴らしさや尊さを感じるとともに、人間としてのよりよい生き方を求めていこうとする気持ちを高める。
- (2) 展開

| 時間 | 学習活動 (・は予想される子どもの姿) | 教師の支援 評価 |
|-----|--|---|
| 3分 | ① 「生きるとはどういうことか」自分の考えを出し合う。 | <ul style="list-style-type: none"> 今の段階で自分にとって「生きる」ということをどう感じているのかを出し合うことで、自分を見つめると共に、本時のテーマを共有し合う場とする。 |
| 5分 | ② 「葉っぱのフレディ」を読んで、印象的だった部分を出し合い、話し合いたいことを決める。 | <ul style="list-style-type: none"> 「葉っぱのフレディ」を読んで印象的な場面を取り上げ、その理由をもとに話し合いたい方向性を定める。 |
| 27分 | ③ フレディが雪の上におりたときの気持ちの変化について話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> なぜ、冷たいはずの雪があたたかく感じたのか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 雪の上で柔らかかったから。 死ぬということは変わることの一つで、自然なことだから。 いのちは永遠に生きていけると感じたから。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> あなたにとって「生きる」という意味は。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 命は神秘的で、連続性があり、かけがえのないもの。受け継いだ命を悔いのないよう生きること。 自分の命と同様、人の命も大切にしていくこと。 自分のためでもあり、誰かのためになることをしていくこと。 なりたい自分を思い描き今を大事にすること。 | <ul style="list-style-type: none"> 普通なら冷たいはずの雪の上が、フレディにはなぜ「やわらかくて、意外とあたたか」に感じたのかという子どもからの疑問を取り上げ、フレディの死に対する気持ちに変化が起こったことを確認する。 フレディが抱く死への恐怖心、未知のことに対する恐怖心に十分共感する場とする。死に近づいていく人の思いに迫ることができるよう、フレディと年老いていく人間の一生とを重ね死を見つめ、命が限りあるものであるという認識を改めて実感する場とする。 死への恐怖心から生きてきたことへの成就感へと変化していったフレディの気持ちの背景にあるものに触れた話し合いの場になるよう、「なぜ、怖くなくなったのか。」「雪の上で何を思ったか。」といった問い掛けをする。 生きる幸せを実感する気持ちの背景に、自分がしてきた仕事が誰かのためになっていた喜び【よりよく生きる喜び】、自分が輝ける場があること【個性の伸長】、仲間と共にいられること【友情・信頼】、生命が多くつながりの中にあるかけがいのないものであること【生命の尊さ】といった多様な道徳的価値が内包されていることを実感する場とする。出された道徳的価値は、類型化し構造的に板書していく。 資料から無理に引き離すことなく、話し合いが、自分の描く生き方にふれた発言になってきた頃合いをみて、あなたにとって「生きる」意味とはどういうことか問いかけ、自分が抱く【よりよく生きる喜び】の道徳的価値に対する考えを引き出していく。 数人の【よりよく生きる喜び】に照らした考えを取り上げる。友達の考えをきっかけに浮かび上がった自分の経験や考えを小グループで語り合う場をとった上で、全体で共有していく。 |
| 10分 | ④ 今日の学習を通して、感じたことや考えたことについて書く。 | <ul style="list-style-type: none"> 学んだ道徳的価値に対して自分の考えを深めていけるよう、友達のどの考えが今の自分の考えにつながったのかという投げかけをしていく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 命には限りがあることを見つめ直すことで、生命の素晴らしさや尊さを感じるとともに、今、どんな自分でいたいのかを思い描き、よりよい生き方を求めていこうとする気持ちを高める。(発言・シート) </div> |